

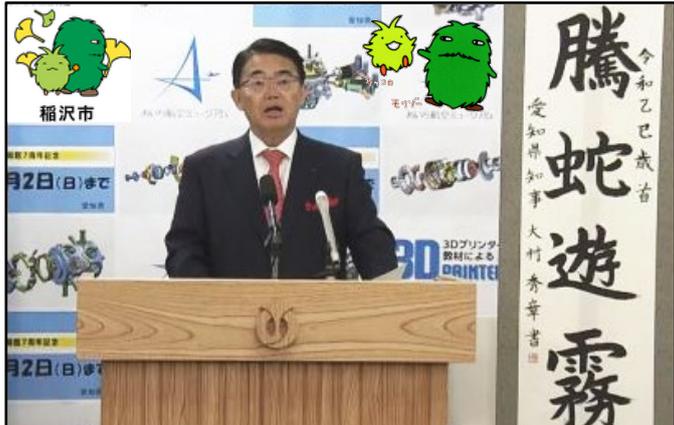


国府宮

2月10日

はだか祭

1月30日 儼追神事標柱建式 儼負人(神男)選定式 2月7日 儼負人参籠



●騰蛇遊霧(とうだゆうむ) 今年の知事の干支にちなんだ書初め『騰蛇遊霧』は、中国の伝説の蛇「騰蛇(とうだ)」が、霧の中を飛び回る様子を表した言葉です。さらなる飛躍に期待を寄せます。

■2025 令和7年スタート

2月10日に儼追神事(はだか祭)が斎行されます。前日の大鏡餅奉納は愛西市奉賛会の皆様のご奉仕です。

- 3月25日に愛・地球博20祭がジブリパークのある愛・地球博記念公園で開幕、●4月1日には稲沢市・祖父江町・平和町が合併してから20年になります。●6月4日 AXIA EXPO、●7月13日大相撲名古屋場所開幕 IGアリーナ 柿落とし、●9月13日国際芸術祭あいち2025開幕、●9月25日ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸、●10月17日あいち技能五輪・アビリンピック2025、●12月国際スケート連盟(ISU)グランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会2025が開催されます。

【2025年度当初予算の要求状況】(単位:億円)

	2025年度	対前年度増減	備考
人件費	6,400	87	R6人勤の反映、定年引上げに伴う退職手当の減
扶助費	3,600	135	障害者自立支援介護・訓練等給付負担金や後期高齢者医療費負担金の増
公債費	3,600	△74	減債基金積立金(満期一括償還積立金)の減
投資的経費	3,400	△149	新体育館整備推進費やSTATION Ai整備事業費の減
税交付金等	6,100	622	地方消費税清算金や地方消費税交付金の増
その他	6,200	730	公立学校情報機器整備基金事業費の増、退職手当平準化基金積立金の階増
計	29,300	1,351	

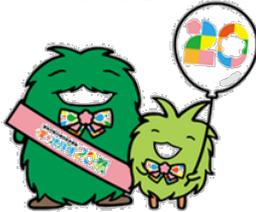
■あいち民主重点事業等調査研究会

1月9、10、14、15日の4日間にわたり例年の重点事業等調査研究会が鈴木まさと政策調査会長の進行で行われましたので超抜粋ですが何点かご報告します。

●令和7年度財政状況試算

歳入では、企業収益の減少から法人二税が減収(△175億円)となるものの定額減税の終了や個人所得の増から個人県民税の増収(386億円)が見込まれ、県税全体では定額全税を除くと前年度並みの1兆3,100億円と試算、地方交付税は県税収入の増収に伴う地方財政措置の減(△800億円)となり歳入合計は2兆7,000億円に留まるのに対し、扶助費や人件費の義務的経費の増などにより歳出合計は2兆9,300億円と現時点では2,300億円の収支不足の状況となっています。このため、今年度と同様に基金残高の回復・取り崩し等による歳入の確保や歳出の精査により対応する厳しい財政状況が続いています。

●愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」について



2005年の愛知万博から20周年を迎える2025年3月25日～9月25日に万博の会場でありジブリパークが開園し賑わいが増す愛・地球博記念公園で、地球博記念館での特別展示や地球大交流フェスタ、54市町村が食・文化・歴史・産業などを発信するブースやステージなどを通して、愛知の多彩な魅力を発信するとともに、その意義や成果を愛知万博を知らない未来を担う若者世代につなげていきます。メインテーマ: **つなぐ 未来(あした)へ**、サブテーマ①: **愛知で、さがそう!遊ぼう!つながろう!**、サブテーマ②: **語りあおう!つなげよう!自然の叡智**として開催、総事業費は24・25年度の2か年分で約17億円を想定しています。



愛知万博20周年記念事業
愛・地球博20祭
2025 03.25(火)・09.25(木)

●SDGs子ども・ユースフェア(仮称)～アジアの環境のために～

今年度は秋頃にSDGsネイティブ(子ども・若者)の行動変容を促進するとともに、アジア・アジアパラ競技大会を契機にアジアの環境問題に目を向ける機会としてグローバル化する環境問題の意識を高めるため、参加体験型ステージイベントやワークショップ、気候変動やプラスチックごみをはじめとした環境問題等に関する特別展を行います。事業費2,700万円です。

県民意識調査ではSDGsの認知度が2019年の7.7%から2024年には66.8%と上昇しました。



STEP 21 県政 REPORT



●稲沢警察署整備費 9,860 万円

今年度 690 万円の地質調査費が終了し、新年度は設計予算が計上されます。通常供用開始には設計 2 年+工事 3 年程度はかかりますが、昭和 47 年建築で署員数も 1.65 倍に増加している市民の安心安全の拠点が前進です。

●交通安全対策について

◇都道府県別交通事故死者数(2024 年中)

順位	都道府県名	死者数	増減数
1	東京	146人	+10人
2	愛知	141人	-4人
3	千葉	131人	+4人
4	大阪	127人	-21人
5	埼玉	113人	-9人

昨年(2023)の交通事故死者数は 141 人で 6 年連続全国ワースト 1 位は回避し、前年比 -4 人と増加から減少に転じました。高齢者の死者数は 77 人と全体の半数以上、そのうち過半数が歩行者です。事故の類型別では道路横断中が 36 人で最多です。



交通安全県民運動



高齢者交通事故防止のイベント



ハンド・アップ隊任命式

●魅力ある県立学校づくり(約 80 億円)

〈中高一貫教育制度の導入〉 第一次導入校(併設型)【2025 年 4 月開校】: 明和(普通 80 人募集/1,364 人出願・音楽 20/36)、津島(国際探求 80/165)、半田(普通 80/395)、刈谷(普通 80/818) 第 2 次導入校(併設型・連携型): 豊田西、西尾、時習館、愛知総合工科、日進、衣台は 2026 年 4 月開校

〈フレキシブルハイスクールの設置〉【2025 年 4 月開設】: 佐屋、武豊、豊野、御津あおば(全日制、中間定時制 20、通信制 40)

〈県立夜間中学の設置〉【2025 年 4 月開校】とよはし中学校(豊橋工科高校に設置)とよた中学、こまき中学、いちのみや中学は 2026 年 4 月開校

●第二子保育料無料化等事業費補助金(約 3 億 3 千万円)

少子化に関する県民意識調査では子育てに係る経済的負担の軽減が最多となっており、現状の第三子以降の保育料助成制度の対象児童を第二子以降に拡大し 2025 年 10 月から実施します。(世帯年収約 261~470 万円:無料、約 471~930 万円:半額)

●カスタマーハラスメント防止対策事業費(約 1 千万円)

専用 Web サイトやポスター・チラシ等によりカスタマーハラスメント防止に向けた周知・啓発を実施

●高病原性鳥インフルエンザの発生状況及び防疫措置状況

1 月 13 日正午現在、常滑市の採卵鶏農場において 6 例目が確認され殺処分予定羽数は 59 万羽、殺処分羽数約 48.1 万羽、動員数は愛知県 3,768 名はじめ合計延べ 5,201 名です。この状況から委員会の県内調査は中止としました。

20 日正午現在では 11 例目が確認され合計 132.4 万羽に上っています。



おめでとうございます! 今年は穏やか。お正月でお休みも長めの方も…鈴木はインフル? で体調を崩しましたが健康第一ですね。国会は少数与党での予算審議、夏には参議院選挙と世界情勢も含め不安定な状況ですが、本年も宜しくお祈りします。未来へつづきまづいへ一生懸命動きます。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**

●すてっぶくんのモニュメント披露

ゴールデンレトリバーのすてっぶ動物病院名誉理事長の故すてっぶくんのモニュメント披露があり加藤稲沢市長へペット防災に役立てるよう寄付が贈られました。



●稲沢市二十歳のつどい

令和 7 年稲沢市二十歳のつどいが実行委員会の皆さんのお骨折りにより開催されました。今年の対象者は平成 16 年 4 月 2 日~平成 17 年 4 月 1 日生まれの方で 1,310 人、男性 671 人、女性 639 人の皆さんです。



●稲沢警察署感謝状贈呈式

式では進藤署長から本部長感謝状が柴田隆史様に伝達、警察活動にご協力頂いた団体個人の皆様に感謝状が贈呈され、鈴木からは皆様に感謝を表するとともにトライアルカメラやヘルメット着用安全宣言、新年度予算に稲沢警察署の建て替えに向けて 9,860 万円の設計予算を要求していることなどご報告しました。



●稲沢市消防出初式

消防出初式が常備消防、消防団、市議会、区長の皆さんに参加頂き挙行され、県議を代表して鈴木も藍綬褒章を受賞した川口副団長はじめ表彰された皆さんにお祝いを申し上げ、日頃の活動に敬意と感謝を表し、基幹的広域防災拠点や地域強靱化計画について触れながら稲沢市の無火災無災害を祈念しました。

